



保健・福祉活動の拠点となる福祉健康センター「すこやか」

この改革は、勝山市の体質を厳しい環境に耐えられるように、強いものを作り変えていくものです。その過程において痛みはあっても、究極的には勝山市をよくするため、市民のためのものであります。この信念に基づいて市民の皆様と心を一つにして力を尽くします。

今年度は、このように行財政改革を進めて財政を健全化し、品格ある中心市街地の再現をはかり、エコミュージアム構想による「わがまち元気発掘事業」によって育ち始めた勝山市内各地区の活力をさらに高めていき、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という気概と、市民全員がこの勝山市を愛し、誇りを持つことができるまちをつくることに全力を尽くします。このようなまちを勝山市が自らつくり上げた後に、市町村合併に臨みます。

4月1日から 教育福祉会館を「教育会館」に名称変更しました。

福祉事務所が、5月6日から福祉健康センター「すこやか」に移転することに伴い、いままでの教育福祉会館の名称を「教育会館」に変更いたしました。会館の使用や各種申請場所などについては、5月5日まではこれまでどおり行われていますので、ご利用をお願いいたします。なお、福祉事務所等の移転後の会館利用については、広報かつやま5月号にくわしく掲載します。

健康福祉センター「すこやか」の新設と教育会館の設置
5月に開設する福祉健康センター「すこやか」に健康福祉部門（福祉事務所）と社会福祉協議会を移動し、こ

整備します。今年、地区の人たちは、数年振りに「大清水祭り」を復活することを楽しみに意欲を燃やしておられます。これに続いて「河原町通り」を、かつての風情ある通りに整備し、順次「旧木下機業場」とその周辺整備、「本町通り」「勝山駅周辺整備」に取り掛かって、平成20年度には完成する予定です。

市民対話の推進

このような行財政運営を執行し、政策を遂行していくためには、情報を公開し、市民に理解をしていただかなければなりません。そのために、年4回定期的に開くこととした市民対話集会のほかに、要望があれば小グループの集会にも出かけていくなどできるだけの機会をつくって市民との対話を心がけ、行財政改革に伴う痛みを分かち合える信頼関係を構築していかなければならないと考えています。



今年1月に開催された市民対話集会

勝山市はその時までに自らの力で行財政改革を成し遂げ、まちなか、周辺部およびハードソフトの両面を含めて、まちづくりのすべてをきちんと整備いたします。そして、まちと人の魅力を高めて、優位性を高めて合併に望みたいと考えます。勝山市の持続的な発展のために以上のような構想を持って全力を尽くします。

組織機構改革

トップ体制の整備

まず4月1日付けで組織機構の改革を行いました。収入役を置かず、助役が収入役の事務兼掌を行う組織とします。

これまで市長以下、助役、収入役、教育長の4役で担っていたトップ組織を、市長を中心として助役、教育長の3役で担うとともに、特別職等の報酬3パーセント削減の継続と合わせ、小さな行政庁をめざし、行政コストの削減をさらに進める姿勢を自らが鮮明にします。

さらに市長・助役の下に部長兼務による政策担当として「危機管理監」ならびに「エコミュージアム政策監」を置き、部局を超える横断的な事務の総合調整により、関連する施策のいっそう効果的な推進を図っていきます。

危機管理監には総務部長を、エコミュージアム政策監には産業部長をそれぞれあてるものとしました。

産業振興支援室の設置と企業誘致プロジェクトマネージャーの募集

次に新規雇用の受け皿となる企業誘致などに積極的に取り組むために、産業部内に「産業振興支援室」を設置しました。この中に企業誘致プロジェクトマネージャーを公募し、配属する計画です。企業誘致については、すでに



憩いの場として整備が進められる大清水周辺

2社が進出を決めており、今年中に操業を開始する予定ですが、昨年度に組織した産学官による「産業振興戦略会議」と連携してさらに力を傾注し、企業誘致など産業振興によって、雇用の受け皿を確保していきます。

まちなか整備の推進

まちの顔となる中心市街地の整備計画が15年度からスタートしています。今年度から、これを担当する都市整備課を建設課の中に吸収し、両者が一体的に機能するように組織しました。まちなか整備事業の最初の成果として今年の夏までに「大清水周辺整備」によって、「大清水」を復活し、湧き水が流れるほつりを散策できる水路を

勝山市企業誘致プロジェクトマネージャー募集

1 募集の内容

4月から、本市の重要施策である産業振興を図るため、勝山市産業振興支援室を設置します。

支援室は、企業誘致を最優先課題に、新たな進出を図る企業と本市との十分な意思疎通を図り、迅速かつ効果的に取り組みを進めるプロジェクトです。

この支援室は、支援室長が総括し、その補佐として、民間から知見と経験豊富な人材を「企業誘致プロジェクトマネージャー」として募集します。

2 条件等

- (1) 年齢 概ね57歳から62歳位までの方
- (2) 都市部において、企業運営に豊富な経験と対外的交流関係を有し、その知識経験を本市での企業誘致に十分生かせること。
- (3) 市内県内在住を問わないが、勝山市役所に勤務できること。

3 応募と選考

- (1) 履歴書と合わせ、企業誘致プロジェクトマネージャーとしての提言あるいは企画書を、800字以上にま

とめ提出してください。

- (2) 選考は、本市が別に定める方法により行います。

4 その他

- (1) 勤務条件等
 - ・身分は勝山市非常勤職員として、常勤の職員と共に事務の遂行にあたりますが、個々の事情を踏まえ勤務時間を設定します。
 - ・報酬は20万円～25万円の範囲内で決定し、その他の手当は個々の事情により決定します。

(2) 任用の期間

2年間を原則とします。

(再任をお願いする場合があります)

(3) 募集期間

平成17年4月1日～17年6月20日

(4) 問い合わせ

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1番1号
勝山市市長公室 秘書・広報課職員グループ
TEL(0779)88-1111 内線211
E-mail:syokuin@city.katsuyama.fukui.jp

